

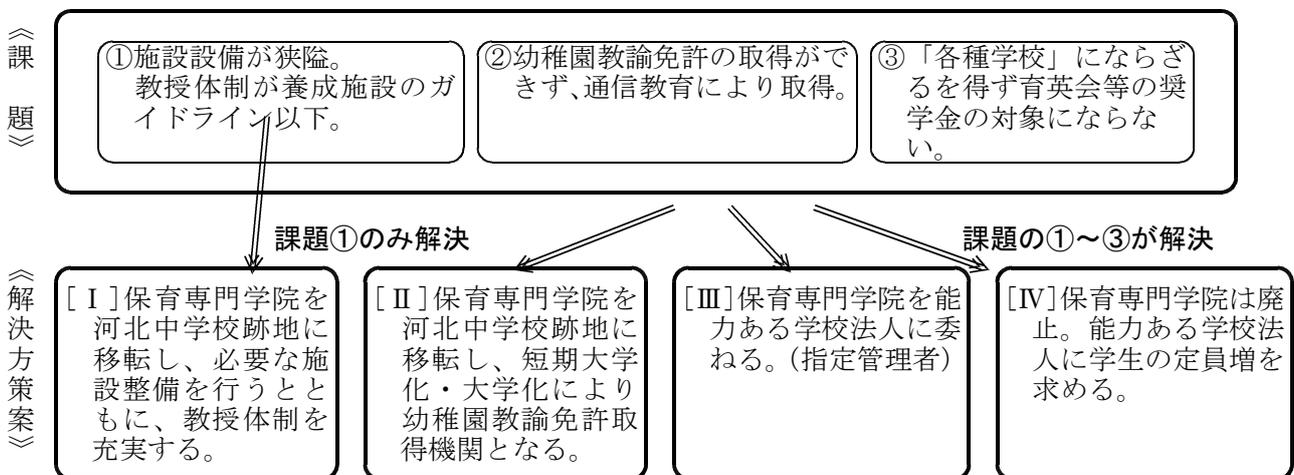
保育士養成のあり方の検討

1 目的

本県における保育の現状、保育士需要の将来推計、国における幼保一体化の動き等を踏まえ、県立保育専門学院の今後のあり方、現任保育士研修の充実策等、今後の保育士養成のあり方について検討を行う。

2 保育専門学院の課題と解決方策（案）

・現状の保育専門学院の設備、運営体制については、次のとおり課題がある。



3 保育士養成のあり方検討に当たっての視点及び検討のフロー

《検討に当たっての視点》

- ・学生にとってより良い学習環境の提供
- ・県内の保育幼児教育の質の向上

《検討のフロー》

【ステージ1】県直営での保育士養成の適否について

◇本県における保育の現状、保育士需要の将来推計等から、直営、学校法人との連携の両面について、上記視点+費用対効果等を踏まえて検討

県直営
解決方策 [I] [II]

学校法人との連携
解決方策 [III] [IV]

*廃止に伴う学生の経済面での支援策、効果的な県内の保育士確保策などについてもあわせて検討。

【ステージ2】現任保育士等研修の充実策について

4 検討スケジュール

11月17日	第1回検討委員会)	ステージ1についての検討
12月	第2回検討委員会(現地視察)	↓
H24.1月	第3回検討委員会	↓
3月	第4回検討委員会	ステージ2についての検討